

令和 6年度 高等部 1年 (Ⅱ課程A) 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部1学年(23名)		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 校内実習や現場実習を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 校内実習や現場実習に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。(高1段階) (学・人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・校内実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人のとの付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人のとの付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・各班に分かれて各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
2 学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期校内事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・校内実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人のとの付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人のとの付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・各班に分かれて各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
3 学期	35	(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。	・次年度に向けて準備しよう。 ・自分について考えよう。 ・一年間の振り返りをして次年度の目標を考えよう。	・体験したことと合わせて卒業後の進路先や自分の将来について考える。 ・様々な職種をイメージするための学習をする。 ・これまでの一年間を振り返り、課題を解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・次年度の取り組みたい目標を考え、発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和 6年度 高等部 2年 (Ⅱ課程A) 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部2学年(16名)		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 校内実習や現場実習を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 校内実習や現場実習に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。(高1段階) (学・人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・前期現場・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、7ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・現場実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・現場実習先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
2 学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期現場事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、7ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・現場実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。

学期		<p>(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。</p>	<p>・後期現場実習</p>	<p>・現場実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・現場実習先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。</p>
3学期	35	<p>(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。</p>	<p>(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。</p>	<p>・次年度に向けて準備しよう。 ・自分について考えよう。 ・一年間の振り返りをして次年度の目標を考えよう。</p>	<p>・体験したことと合わせて卒業後の進路先や自分の将来について考える。 ・様々な職種をイメージするための学習をする。 ・これまでの一年間を振り返り、課題を解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・次年度の取り組みたい目標を考え、発表する。</p>
留意点 引継ぎ 等					

令和 6年度 高等部 3年 (Ⅱ課程A) 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部3学年(12名)		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 校内実習や現場実習を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 校内実習や現場実習に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。(高1段階) (学・人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・進路について ・実習前、身だしなみ週間 ・前期現場・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、7ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・現場実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・現場実習先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。
2 学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉使いや服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉使いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期現場事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・前回の実習評価を読み取り、7ルールが実習でどの程度できたか自己評価する。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・働く社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。 ・現場実習の目標を立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。 (主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの習得を図る。 ・現場実習先で各自取り組む。 ・毎日、実習の振り返りを日誌に記入する。

3 学 期	35	<p>(知及技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだすことができる。</p> <p>(思判表力) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践することができる。</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 働くことの意義や職場の人との付き合いの大切さについて理解し、働くために必要なスキルを見いだしている。</p> <p>(思・判・表) 仕事を行っていく中で、自分がどのような行動をすればよいか場面ごとに考え、実践している。</p> <p>(主学) 主体的・協働的に現場実習に取り組もうとしている。</p>	<p>・ 抽出現場実習</p>	<p>・ 体験したことから合わせて卒業後の進路先や自分のしょうらいについて考える。</p> <p>・ 抽出実習を行い、卒業後の進路先についてのイメージを持つ。</p>
留 意 点 等					

令和 6年度 高等部 1年 (Ⅱ課程B) 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
140	高等部1学年		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 校内実習や現場実習を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 校内実習や現場実習に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。(高1段階) (学・人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができる。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・校内実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・中間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけている。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけてきた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・各班に分かれて皆と一緒に活動する。
2 学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができる。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・校内実習事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・全体学習で実習内容について知り実習に向けての心構えについて確認する。 ・校内実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・中間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけている。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけてきた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期校内実習	・校内実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・各班に分かれて皆と一緒に活動する。

3 学 期	35	<p>(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決について、考えることができる。</p> <p>(思判表力) 今後の自分の目標を考え、発表することができる。</p> <p>(学・人) クラスメイトのよさを理解することができる。</p>	<p>(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、考えることができる。</p> <p>(思・判・表) 今後の自分の目標を考え、発表している。</p> <p>(主学) クラスメイトのよさを理解している。</p>	<p>・次年度に向けて準備しよう。</p>	<p>・卒業後の進路先についてのイメージを持つ。</p>
留 意 点 引 継 ぎ 等					

令和 6年度 高等部 2年 (Ⅱ課程B) 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
140	高等部2学年(2名)		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 校内実習や現場実習を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 校内実習や現場実習に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。(高1段階) (学・人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができる。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・前期現場事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・現場実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけていることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけていることができる。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・現場実習先で各自取り組む。
2 学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができる。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期現場事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・現場実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つけていることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つけていることができる。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・現場実習先で各自取り組む。



3 学 期	35	<p>(知及技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決について、考えることができる。</p> <p>(思判表力) 今後の自分の目標を考え、発表することができる。</p> <p>(学・人) クラスメイトのよさを理解することができる。</p>	<p>(知・技) これまでの一年間について振り返り、課題の解決に向けて、考えることができる。</p> <p>(思・判・表) 今後の自分の目標を考え、発表している。</p> <p>(主学) クラスメイトのよさを理解している。</p>	<p>・次年度に向けて準備しよう。</p>	<p>・卒業後の進路先についてのイメージを持つ。</p>
留 意 引 継 ぎ 等					

令和 6年度 高等部 3年 (Ⅱ課程B) 総合的な探求の時間 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
140	高等部3学年(3名)		ワークシート

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 校内実習や現場実習を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する知識や技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 校内実習や現場実習に向けて、目標を設定するために自己の課題を整理・分析したり、課題解決に向けて得られたことをまとめたり表現することができる。(高1段階) (学・人) 自己や他者の課題解決に向けた取り組みを将来の進路選択に向けて主体的に活かすことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	49	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つげることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・前期現場事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・現場実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つげることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つげることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・前期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・現場実習先で各自取り組む。
2 学期	56	(知及技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つげることができる。 (思判表力) 社会人として場面に応じた適切な服装ができる。 (学・人) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人のマナーを知り、自分に必要なスキルを見つけている。 (思・判・表) 社会人として場面にあった服装に着替えることができている。 (主学) 現場実習を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。	・実習前、身だしなみ週間 ・後期現場事前事後学習	・全体学習 ・各学級に振り返る。 ・現場実習の目標を教師と一緒に立てる。 ・発表会にて生徒の前で振り返りを教師と一緒に発表することができる。 ・仲間の発表を聞き様々な実習内容を知る。
		(知及技) 働くために必要なスキルを見つげることができる。 (思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。 (学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 働くために必要なスキルを見つげることができた。 (思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。 (主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。	・後期現場実習	・現場実習を行い、働くために必要なスキルの身に付ける。 ・現場実習先で各自取り組む。

3 学 期	35	<p>(知及技) 働くために必要なスキルを見つけることができる。</p> <p>(思判表力) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動に移すことができる。</p> <p>(学・人) 主体的に現場実習に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 働くために必要なスキルを見つけることができた。</p> <p>(思・判・表) 仕事を行っていく中で、必要な行動を考え、行動している。</p> <p>(主学) 主体的に現場実習に取り組もうとしている。</p>	・ 抽出現場実習	・ 抽出実習を行い、卒業後の進路先についてのイメージを持つ。
留意点 引継ぎ 等					